

# 西大寺ご当地ブランド

活性化協創 グルメなど認定、PR



ご当地ブランド「GOFUKU」のロゴマークを手にする森理事長（左）ら

一般社団法人・西大寺活性化協議会（事務局・岡山商工会議所西大寺支所）は11日、岡山市東区西大寺地区のご当地ブランド「GOFUKU（ごふく）」を創設したと発表した。国重要無形民俗文化財「西大寺会陽」

で授けられる御福にちなんだグルメや商品、サービスなどを認定し、観光振興につなげる。正式名称は「備前おかやま西大寺 御福と五福 GOFUKU」。会場で奪い合う宝木を手にした男性が

財運、無病、長寿など五つの福を得るとされることを踏まえて名付け、専用のロゴマークを作成した。

第1弾として5色のクリムソーダやせんべい、巻きずしなどを提供する35事業者・施設を認定した。認定を受けると、ロゴマークを使用できるほか、同協議会作成のデジタルマップに掲載される。来年2月にはマップを使ったスタンプラリーも予定している。

門前町である西大寺地区は、吉井川の高瀬舟や江戸・明治期の海運を担った北前船が立ち寄る水運の拠点としても繁栄。会陽が行

われる西大寺観音院をはじめとした歴史的建造物が点在し、天満屋や両備グループなど岡山を代表する老舗企業の創業の地でもある。同協議会の森健太郎理事長は「一年一度の会陽だけでなく、何度も西大寺に足を運び、地域で紡がれてきたストーリーを感じてもらった。きっかけになれば」と話した。

同協議会は西大寺の魅力アップなどを狙いに2021年、地元企業や住民が設立。これまで北前船に関する調査やレンタサイクル事業などを行っている。

（大河原三恵）